

平成24年度

## 決算審査特別委員会

# 各会計決算を認定



厚生病院の産婦人科外来

**Q** 北海道学童保育指導員学校研修負担金について今後、学童保

**A** クレームの具体的な内容について承知していないが、受託業者の車両不足なども考えられるので状況などについて調査してみたい。

昨年10月に、北海道厚生連から病院の改善計画が示され、今の段階ではほぼこの計画通り進みつづあると聞いています。

会計ごとに審査を行つた。会計長に樋口議員を副委員長に磯田議員を選出し、9月3日・4日の2日間の日程で開催しました。会計ごとに審査を行つた。会計長に樋口議員を副委員長に磯田議員を選出し、9月3日・4日の2日間の日程で開催しました。会計ごとに審査を行つた。

初日の9月2日、議員8名（樋口・笠原・作井・田中・伊達・磯田・盛多・三島）による決算審査特別委員会を設置しました。

原田議員が一般会計・国保会計・介護保険サービス会計・下水道会計に反対する討論（討論については7頁参照）を行いました。採決の結果、賛成多数ですべての会計決算を委員会報告どおり認定しました。

審査するため、定例議会

一般会計最終日に、委員長が本会議において委員会の審査結果を報告しました。原田議員が一般会計・国保会計・介護保険サービス会計・下水道会計に反対する討論（討論については7頁参照）を行いました。採決の結果、賛成多数ですべての会計決算を委員会報告どおり認定しました。

**Q** 決算審査特別委員会での主な質疑

### ■一般会計

**A** 育の需要が高まるにつれ、指導員の研修も多くなると思うが、どの程度までの研修が必要なのか。また、マンパワー不足をどうするのか。

**Q** 指導員の採用に当たっては、有資格者が理想だが、無資格者でも子育ての経験があれば採用しているのが現状だ。

**Q** 業務に支障をきたすことがあるので、研修はなかなかうまく進んでいない。慢性的な人材不足を解消するため、人材バンク的なものを考えている。

**Q** 厚生病院の産婦人科の医師確保をはじめ、病院全体の状況はどうなっているのか。

### 平成24年度 決算報告 各会計決算並びに一般会計財政構造 (円)

| 会計名      | 収入金額          | 支出金額          | 収支差額          | 一般会計財政構造           |
|----------|---------------|---------------|---------------|--------------------|
| 一般会計     | 8,221,825,641 | 7,942,961,819 | 278,863,822   | 翌年度繰越財源 59,343千円   |
| 特別会計     | 1,563,987,677 | 1,782,446,909 | △ 218,459,232 | 実質収支 219,521千円     |
| 国民健康保険   | 673,056,295   | 894,479,961   | △ 221,423,666 | 単年度収支 △ 54,740千円   |
| 後期高齢者医療  | 149,386,743   | 147,885,791   | 1,500,952     | 財政力指数 0.43         |
| 介護保険サービス | 3,452,562     | 3,452,562     | 0             | 経常収支比率 80.1%       |
| 公共下水道    | 727,652,053   | 726,424,787   | 1,227,266     | 実質公債費比率 12.2%      |
| 地方卸売市場   | 6,665,306     | 6,429,090     | 236,216       | 積立金現在高 1,636,380千円 |
| 公共用地先行取得 | 3,774,718     | 3,774,718     | 0             | 地方債現在高 7,130,181千円 |
| 全会計      | 9,785,813,318 | 9,725,408,728 | 60,404,590    | 債務負担行為額 385,633千円  |

### 水道事業会計決算総括表

(円)

| 区分           | 収入金額        | 支出金額        | 収支差額          | 備考                                    |
|--------------|-------------|-------------|---------------|---------------------------------------|
| 収益的収支(消費税除く) | 290,162,546 | 264,305,987 | 25,856,559    | 水道水を各家庭に送る費用                          |
| 資本的収支(消費税込み) | 25,475,674  | 152,831,529 | △ 127,355,855 | 施設の建設・改良のための費用<br>不足額は「内部留保資金」などから補てん |

私道除雪の補助金については、町道との整合性という点からみても冷遇されているとの声がある。補助金の額をすべきと思うがどうか。

A 平成24年度は23年度に比べ増額した。

Q 小中学校の冬季大会出場に対する補助金のここ数力年の予算に対する執行率はどうなっているのか。また、大会参加費用の保護者負担の軽減策は考えられないか。

A 平成22年度は当初予算266万円に対し、執行額が288万円。23年度は252万円に対し217万円。24年度は2130円。24年度は21317円。24年度は264万円。400円に対し80万円の補正を行い37万870円となつてい

る。本町には、全国レベルの中学生もあり、その支援を教育委員会としても考えているが、基準作りが難しい。本町のスポーツ全般の底上げなども考え、引き続き検討していきたい。

図書購入に関しては、各学校の教員が選定して購入後は、学校長の裁量で行っているが、学内では閲覧制限があると認識していないし、教育委員会として制限をかけることも一切ない。

税について納税管理人という制度なども活用して徴収している。管理人を付けていない外国人については、翻訳した文書を直接送付して、本町の銀行に振り込んでもらうようにするなど、不納欠損が出ないようにしている。

●決算認定に対する原田議員の反対討論（要旨）

### ●一般会計

一般会計は2億2886万4000円の黒字決算となっています。このことから住民要求の実現に取り組むべきことをこれまで強く要望してきました。平成24年度では子供の医療費負担減の2歳拡充、福祉ハイヤーの障がい者の人たちの拡充、じやがりん号の本格実施などの取り組みは一步前進と評価しています。しかし、住民の暮らしを応援する点では不十分であることも事実です。俱知安町の政治が住民の暮らしを中心に行われることを願い反対討論とします。

### ●国保会計

お年寄りの後期高齢者医療保険と介護保険は年金から天引きされますが大幅引き上げです。年金が引き下げられた状況での今回の保険税引き上げは許すことはできないことを申し上げ反対討論とします。

### ●公共下水道会計

料金の10%引き上げは、子供の小さい家庭や飲食店など水を多く使うところの家計や経営を圧迫します。引き上げは経済状況が改善してからにすべきことを指摘して反対討論とします。



学校図書の数々

A 学校での図書購入は、すべて各学校の自由なのか。また、購入した図書の閲覧を制限することができるのか。できるとすれば、その権限はどこにあるのか。

A 現年課税分の中で収入未済額というのがあるが、これが毎年の滞納繰越しに移行することになる。

不納欠損は毎年発生しているが、滞納者が不明となり、納税の承認が取れないなどで5年が経過すると時効で消滅する。これを不納欠損としている。

Q 外国人事業者が相当増えているが、それらの固定資産での不納欠損の実態はどうなっているのか。

A 平成24年度は23年度に比べ増額した。

Q 小中学校の冬季大会出場に対する補助金のここ数力年の予算に対する執行率はどうなっているのか。また、大会参加費用の保護者負担の軽減策は考えられないか。

Q 町税の滞納繰越しに毎年どのくらい増えている、それに対する不納決損の割合はどうなっているのか。

Q 町税について納税管理人という制度なども活用して徴収している。管理人を付けていない外国人については、翻訳した文書を直接送付して、本町の銀行に振り込んでもらうようにするなど、不納欠損が出ないようにしている。

●決算認定に対する原田議員の反対討論（要旨）

### ●一般会計

一般会計は2億2886万4000円の黒字決算となっています。このことから住民要求の実現に取り組むべきことをこれまで強く要望してきました。平成24年度では子供の医療費負担減の2歳拡充、福祉ハイヤーの障がい者の人たちの拡充、じやがりん号の本格実施などの取り組みは一步前進と評価しています。しかし、住民の暮らしを応援する点では不十分であることも事実です。俱知安町の政治が住民の暮らしを中心に行われることを願い反対討論とします。

### ●国保会計

お年寄りの後期高齢者医療保険と介護保険は年金から天引きされますが大幅引き上げです。年金が引き下げられた状況での今回の保険税引き上げは許すことはできないことを申し上げ反対討論とします。

### ●公共下水道会計

料金の10%引き上げは、子供の小さい家庭や飲食店など水を多く使うところの家計や経営を圧迫します。引き上げは経済状況が改善してからにすべきことを指摘して反対討論とします。

まわして収納率を若干上げている。

本町には、全国レベルの中学生もあり、その支援を教育委員会としても考えているが、基準作りが難しい。本町のスポーツ全般の底上げなども考え、引き続き検討していきたい。

図書購入に関しては、各学校の教員が選定して購入後は、学校長の裁量で行っているが、学内では閲覧制限があると認識していないし、教育委員会として制限をかけることも一切ない。

税については、納税管理人という制度なども活用して徴収している。管理人を付けていない外国人については、翻訳した文書を直接送付して、本町の銀行に振り込んでもらうようにするなど、不納欠損が出ないようにしている。

●決算認定に対する原田議員の反対討論（要旨）

### ●一般会計

一般会計は2億2886万4000円の黒字決算となっています。このことから住民要求の実現に取り組むべきことをこれまで強く要望してきました。平成24年度では子供の医療費負担減の2歳拡充、福祉ハイヤーの障がい者の人たちの拡充、じやがりん号の本格実施などの取り組みは一步前進と評価しています。しかし、住民の暮らしを応援する点では不十分であることも事実です。俱知安町の政治が住民の暮らしを中心に行われることを願い反対討論とします。

### ●国保会計

お年寄りの後期高齢者医療保険と介護保険は年金から天引きされますが大幅引き上げです。年金が引き下げられた状況での今回の保険税引き上げは許すことはできないことを申し上げ反対討論とします。

### ●公共下水道会計

料金の10%引き上げは、子供の小さい家庭や飲食店など水を多く使うところの家計や経営を圧迫します。引き上げは経済状況が改善してからにすべきことを指摘して反対討論とします。

事業全体では、病院のはしごなどで医療費が上がっている状況にある。赤字解消には収納率の向上、滞納額の解消、医療費の抑制などが考えられるが、監査委員のほうから直接指示することは不可能なので、担当課のほうで工夫して事業を行っていただきたい。

# 行政報告

定例議会冒頭での町長・教育長の行政報告、今回は5月16日から8月15日までの3ヶ月間の状況報告です。以下、その中の主な項目について掲載します。



北4条東7丁目 宅地分譲地 ～くっちゃん型住宅団地～

## ■行政報告（町長）

の区画で申し込みがあり、現在2区画分が売却にいたつた。

町有地の宅地分譲  
旧白樺公営住宅団地跡  
地の宅地分譲は、5月末までの申込締切り時に、2世帯からの応募があり、同じ区画を申し込まれたため、抽選により1世帯が決定した。

また、抽選に漏れたもう1世帯からも再度、別組み。8月号広報に、建築助成金とともに宅地分譲の案内を折り込み、周知を図つており、引き続き広く周知するとともに、定期的に完売できるよう取り組む。

## ■民生部関連

その躯体の大きさがゆえに大改修を行っても、安全で健やかな子ども達を育む施設として、総合保育所としての利用はふさわしくないと判断した。

先般の庁舎内学校施設転用検討会の提案は、公共施設としての有効な利活用を前提として検討をした結果、町内3カ所の保育所を統合することで、東陵中学校跡校舎施設を改修活用するものとしていた。

その後、担当課の現場に携わる者を含めて、閉校時点からこれまで校舎の全階にわたり、管理体制からの学校施設内部の構造、通所児の目線からの動線や保育室の安全部や環境整備などをさまざま角度から利活用について検証させたところである。

また、併せて保育所利用者の保育施設整備についての意向調査も実施した。そうした検証結果を踏まえ、さらに協議したが、施設躯体の大きさから、総合保育所としての大改修を行い、子育て支援センターを併設することは面積的には可能であるが、

花園牧場周辺の開発行為による牧場水源  
花園牧場西側に位置し、牛の飲み水を取水している水源地に隣接した民有地において、今年5月末から平成26年8月末を工事とし、開発行為による宿泊施設の建設及び温泉掘削工事が行われてい

る。また、併せて保育所利用者の保育施設整備についての意向調査も実施した。そうした検証結果を踏まえ、さらに協議したが、施設躯体の大きさから、総合保育所としての大改修を行い、子育て支援センターを併設することは面積的には可能であるが、



老朽化が進む保育所

## ■経済部関連

公開されている開発行為の概要として、開発区域の面積は9874・16m<sup>2</sup>。工事の期間は、平成25年6月7日から平成26年8月31日まで。建築物の用途については、宿泊施設となっている。

牧場の水源地が開発行為に係る民有地に囲まれているため、表流水が入らない形で取水できるよう、湧水箇所に柵を新たに設置し、花園牧場経営に欠かせない、安全な牛の飲み水を将来に渡つて確保するため、対応を進めている。

この他に、総務部関連では、デジタル防災行政無線再整備事業設備整備工事、まちづくりアンケート、民生部では、放射能物質検査の実施、南北地域会館の耐震化、共生型基盤整備事業、可燃ごみの広域処理、経済部関連では、町内の主要農作物の育成状況、二セコロジーの広域観光の推進、商工振興、道路・住宅等施

策執行状況についてそれぞれ報告があつた。

## 教育行政報告 (教育長)

### ■学校教育関連

#### 町内中小学生の各種大会の出場結果

6月に入り本格的なスポーツシーズンを迎える。小学生の陸上競技大会及び中学校体育連盟主催の後志大会、全道大会が開催された。

小学生では、6月15日

に開催された後志小学生陸上競技大会で、北海道大会出場標準記録を突破した町内各小学校の児童24名が、7月13日から15日まで函館市で開催された第31回北海道小学生陸上競技大会に出場し、各学年のソフトボール投げで5名が入賞という立派な成績をおさめた。

また、中学生では、ソフトボール・サッカー・水泳・柔道・陸上の各競技で、後志地区大会を勝ち抜き、全道大会出場を果たした。

全道大会の結果では、ソフトボールが8月2日



俱知安中学校 男子バスケットボール部

### 道教委によるスクールカウンセラーの派遣

本町では、特に統合初年度の俱知安中学校において、生徒の精神面でのさまざまな不安に対応するため、学校の希望等を調査し、道教委に対しそ派遣を申請していくが、本年5月に今年度末までの派遣決定をいただいた。

本町でのカウンセラーの勤務は、1週あたり4時間となつていて、拠点校である俱知安中学校では、生徒へのカウンセ

リングや教職員・保護者等への助言をしていただきとともに、派遣校である町内小学校でも、生徒指導上の問題が見られる児童に対するカウンセリ

ングを実施していただき

### ■社会教育関連

#### 青少年教育「ワンダー キッズ」事業

今年度の「ワンダーキッズ」事業は、6月1日

から厚沢部町で実施した「海

を学ぼう」から「ワン



「ワンダーキッズ」事業の目玉～羊蹄登山～

ダー キッズ・ハーフマラソン」「羊蹄ぐるっと一周サイクリング」、夏休みの最終日には「羊蹄登山」を実施した。

この事業では、メニューによつて参加人数に多少のばらつきはあるものの、おおむね8割程度の参加となつており、今後は高速道路の視察研修、

昼食のお弁当作りなどをへて、3月の雪中キャンプで全事業を終了する予定。

この他に、学校教育関

連では、新任外国語指導助手の着任、小中高連携

事業「英語によるコミュ

ニケーション能力・論理的思考力を強化する指導

改善の取り組み」、ス

クールバス回転場の用地購入、社会教育関連では、

日光市交流事業、高齢者

教育「寿大学」、青少年

センター事業「夏休み巡回補導」、スポーツ教室

及び水泳教室の開催につ

いて、それぞれ報告が

あつた。

この事業は、6月1日

から江別市で開催さ

れたが、1回戦で今大会

準優勝の札幌八軒中と対

戦し敗退、水泳は、7月

26日から江別市で開催さ

れた大会に、女子2名が

出場、柔道は8月3日か

ら厚沢部町で開催され

た。

大会に女子1名が出場し

た。

大会では、

水泳は、7月

26日から8月2日まで

開催された。

全道大会の結果では、

水泳は、7月

26日から8月2日まで

開催された。

大会では、

水泳は、7月

26日から8月2日まで

開催された。</p

# 一般質問

この課題に質問が集中

## [原発災害時の避難計画]



福島町長

①事故が  
発生した  
時には、  
原子力防



竹内  
隆議員

て事故が発生した場合、本町の住民はどうなるのか。  
避難計画が完全にできていなければ、町民は逃げられない。町長の見解は、大変なことになる。町長との協定や確認書など、住民や役場機能の避難先は決まっているのか。  
②今回の避難計画改正のポイントと課題は。  
③住民個々の避難方法の確定はいつ頃か。  
④全住民個々の避難方法が完成して、はじめて計画達成となるが、それがいつ頃になるのか。  
⑤その計画に基づく実際の避難訓練が必要ではな

い。  
個々の避難方法なので、一人ひとりに合った避難計画が完成して、計画達成となるが、それがいつ頃になるのか。  
⑤その計画に基づく実際の避難訓練が必要ではない。

（1）事故が発生した場合には、原子力防

（2）役場の移転先は決まり組んでいたり、市、千歳市のホテル・旅館から内諾を得ており、年内に協定を結ぶ。  
（3）住民等の避難先は現在、伊達市、室蘭市、苫小牧市、千歳市のホテル・旅館から内諾を得ており、年内に協定を結ぶ。

（4）全住民の避難方法の確定は、25年度内をめどに取り組んでいる。  
（5）避難計画に基づく訓練は、26年度に移転先のいずれかにバス、ヘリコプターなどを使用し、実際に検討し万全に行う予定。

災計画や避難等措置計画に規定している基準をもとに防護措置を実施する。例えば放射性物質が放出された時は、1時間を超えて500マイクロシーベルト以下であれば1週間に以内に、それ以上であれば数時間以内に一時移転する。

（2）緊急事態の初期対応段階の警戒事態、施設敷地緊急事態、全面緊急事態という3つに区分し、各区分に応じた主な防護措置について設定している。

（3）原発災害時の風向きが避難先に向いていても、その避難先は変更しないのか。

（4）U.P.Z区域の自治体に避難計画の策定を任せっきりにしてきた国が、今後は責任をもつて関係自治体の計画を策定することだが、その場合、本町の計画の見直しはあるのか。

（5）計画を策定した担当者も町民も、実際には原発の重大事故に遭遇したこ



訓練当日、全町民が避難することは現実に不可能なので、可能な限り参加できるような計画を立てることで、可能なら率直な意見を聞いてみては。

（1）町内の小中学校・高校には計画作成に向けた説明は済んでいる。幼稚園・保育所・医療機関・社会福祉施設については、可能な限り早急に説明会を開催したい。

（2）本町は豪雪地帯だが、計画では悪天候時の避難方法が盛り込まれていない。最悪の気象状況を前に提えた避難計画をどうするのか。

（3）現地災害対策本部が避難及び避難先に放射性物質が降り注ぐと判断した時は、避難先を変更する。

笠原啓仁議員

（1）町内の小中学校・高校には計画作成に向けた説明は済んでいる。幼稚園・保育所・医療機関・社会福祉施設については、可能な限り早急に説明会を開催したい。

（2）本町は豪雪地帯だが、計画では悪天候時の避難方法が盛り込まれていない。最悪の気象状況を前に提えた避難計画をどうするのか。

（3）現地災害対策本部が避難及び避難先に放射性物質が降り注ぐと判断した時は、避難先を変更する。

（4）国が責任をもつて計画を策定する具体的な内容について、道に照会したが現時点では把握できないため、国の推移を見ながら当町の計画策定に努めていく。

（5）避難の体験のある自治体職員の意見を聞くことは、今後、そのような機会が得られれば是非聞いてみたい。

（6）福島町長